

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

トリクロサンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する延長毒性試験－14日間

試験番号

第08015号

試験方法

本試験はOECD化学品テストガイドライン 204「魚類延長毒性試験－14日間」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：トリクロサン
- 2) 曝露方法：流水式(定量ポンプを用いる連続希釈装置を使用)
- 3) 曝露期間：14日間
- 4) 連 数：1濃度区1連
- 5) 供 試 魚：ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 6) 供試魚数：10尾/濃度区
- 7) 試験水量：約9L
- 8) 流量及び換水率：60ml/分，約10回/日
- 9) 温 度：24±2℃
- 10) 照 明：室内光，16時間明/8時間暗
- 11) エアレーション：無し
- 12) 試験濃度：対照区，助剤対照区，0.018，0.032，0.056，0.10，0.18，0.32及び0.56mg/L濃度区
- 13) 試験水中の被験物質の分析方法：高速液体クロマトグラフ法(0，7及び14日後)

結 果

- 1) 14日間の最小致死濃度＝0.32mg/L
 - 2) 14日間の最小作用濃度＝0.32mg/L
 - 3) 14日間の最大無作用濃度(NOEC)＝0.18mg/L
 - 4) 7日間の半数致死濃度(LC50)＝0.55mg/L
 - 5) 14日間の半数致死濃度(LC50)＝0.46mg/L
- (上記の濃度は，1)～3)設定濃度及び4)～5)実測濃度に基づく値)